

# 江戸川高等学校 令和5年度 年間授業計画

学年	3	教科	公民科	科目	現代社会	単位数	2
使用教科書 (出版社名)	高校現代社会 新訂版			補助教材 (出版社名)	最新現代社会資料集 2023		

学 期		指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1学期 (26)	前半	現代社会の諸課題 青年期と自己形成 他者と共に生きる倫理	現代社会の諸課題を自分の問題として考えさせる。 人の人生における青年期のもつ意味を理解させる。 宗教や倫理思想が、なぜ人々の心をとらえ、社会や文化に大きな影響を与えているのかを考えさせる。 現代の科学技術の発達とそれにとまない新たに生じた生命倫理の問題について考えさせる。	定期考査の点数を中心に、日常の学習活動における取り組み態度の観察、課題等の作成と提出、定期考査への取り組み姿勢など総合的にとらえ、本校の評価基準に則して評価する。
	後半	現代の国家と民主政治 日本国憲法と国民生活	政治の機能や基本原理を理解させる。 人権保障の意義について理解させ、その課題について考えさせる。 基本的人権としての社会権の保障について、理解を深める。 社会保障制度について、考えさせる。	
2学期 (28)	前半	現代の経済社会と政府の役割	経済の見方と仕組みを理解させる。 資本主義経済の歴史と特色を、他の経済体制と比較しながら理解させる。	
	後半	経済活動のあり方と国民福祉	実生活と政治・経済を結びつける。 現代市場経済のしくみを経済主体のはたらきや、市場機構から理解させる。 現代の企業の形態を学ばせる。 寡占、独占などの現代市場のあり方を理解させる。	
3学期 (16)		国際経済の動向	日本経済と国際経済の関係を理解させる。	

\*なお、担当者のそれぞれの工夫や、生徒の理解の進み方等の事情により、必ずしも上記計画のとおり展開するものではありません。

\*学期欄に( )で記入してある時数は、予定時数です。